

学びに向かう力、人間性等をどのように育むのか

2026.1.20 (火)

共栄大学教育学部 島内 啓介

1. 本日の公開授業に関して及び両国中学校の取組に関して

●本日の公開授業に関して

●教科を3つのグループに分け「学ぶ意欲」に焦点を当てた授業づくり

A グループ（国語、社会、英語）

テーマ「主体的な学びを促すための導入・問い掛けの工夫」

B グループ（数学、理科）

テーマ「評価基準の提示を通して学ぶ意欲を高める」

C グループ（音楽、美術、保健体育、技術・家庭科）

テーマ「生徒ができるようになったことを実感するための目標設定の工夫」

●日々の教育活動の質を向上させることこそが重要 →授業改善の取組

●学ぶ意欲の向上とは

2. 学びに向かう力、人間性等をどのように育むのか

●学力の3つの柱との関連

他の2つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素

3つの柱の関連の考え方

●教科ごとの学びに向かう力とは何かを確認し、より一層明らかにする必要がある

例) 中学校数学

○教科の目標においては

数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

○学年の目標において（1年生）

数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。

●指導と評価の計画の見直し

学校ごと（教員ごと）の考えが明確になる必要がある。それが授業改善につながる

●主体的に学習に取り組む態度の評価の留意点

特に「粘り強い取組」と「学習を調整しようとする」こととは

3. 今後の学習指導要領の方向性

●「学びに向かう力・人間性」の考え方は改めて整理

●教科の目標や見方・考え方の再整理

●学習指導要領のデジタル化 等